

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391400260
事業所名	グループホームファミリア神の倉

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	職員が地域に住んでおり、また長年かけて普段の挨拶を事業所としても重ねてきて、顔なじみの住民も増えています。菜園をもつ隣近所からは西瓜など収穫物のおすそ分けがあるほか、「使わなくなったので、良かったら…」と、余剰品のオムツが沢山届くこともあり、地域から気にかけてもらえていることを実感しています。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	3月、5月と連続して人が集まる運営推進会議の開催ができましたが、7月に入り職員が濃厚接触者であると判り、再び書面開催に逆戻りすることとなり、開催方法が安定しない状況にあります。それでも2ヶ月分の運営状況をまとめメンバーに届けることを継続、法令を遵守しています。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	名古屋市中からは都度メール配信があるほか、まだ時折マスクが届き、助けられています。また緑区北部いきいき支援センターとは運営推進会議を通じた関わりが減ってはいるものの、新規利用者の照会が年1件ほど切れ間なくあるとともに、サロンの開催案内など知らせてもらっています。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	コロナ過で外出支援は縮小しても散歩は続け、今年も道すがらの土筆を摘んで皆できれいに整え佃煮とする恒例の取組みがありました。またコロナの感染状況を踏まえ、「面会ができる、できない」は都度家族にお知らせしていますが、家族アンケートでは受け止めていない人がいることがわかり、「判りやすく、確実に伝える」にはどうしたらよいかは今後の課題としています。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

--

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	—	—	—	—	—	—	—	○	○	×	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	○	○								